

○ 株式会社NAは、三重県志摩市の委託を受けて、下水や集落排水（農業、漁業）から発生する汚泥、地域で発生するもみ殻を活用し、汚泥発酵肥料「地球の味方ヒラキマン」を製造。

■ 国内資源の種類

■ 肥料の種類・肥料名称

■ 取組の経緯・内容・成果（見込み）

下水汚泥

汚泥発酵肥料
地球の味方ヒラキマン



取組の経緯

- 志摩市から下水汚泥の肥料化について相談を受け2020年から取組を開始。
- 従前は廃棄されていた物を有価な資源として再資源化した汚泥発酵肥料の普及促進と有効活用により、循環型社会の形成に貢献したいと考え、下水汚泥のほか、近隣で発生するもみ殻や造成・伐採で発生する木片チップも活用した肥料を開発。

取組の内容

- 下水汚泥は志摩市から200 t～250 t /年受け入れ。肥料生産量は160 t～200 t。下水汚泥を処理するだけでなく、農業者が使いたくなるような品質のたい肥の製造することを目指し、2年間の試行錯誤の末、木片チップ、もみ殻に発酵菌を混ぜ込み、十分な発酵温度を確保している。
- 肥料は周辺の農家に試験的に使用してもらい高評価を得た。

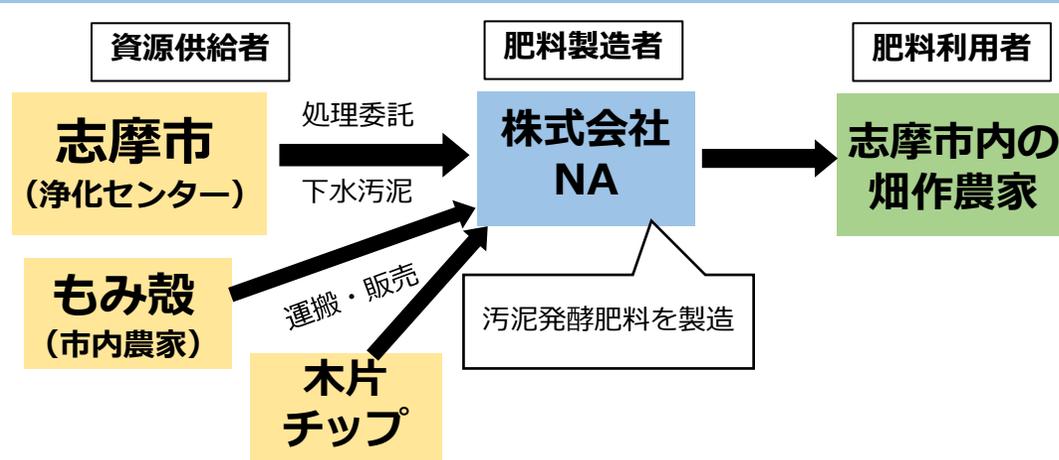
■ 作物

■ 主成分の含有量（%）、特徴等

畑作物

N	P	K
2.5	3.8	0.3

■ 主たる取組主体と肥料利用までの流れ



■ 今後の課題・取組

- 原料に下水汚泥を含むことで、重金属等イメージがよくない傾向にあるため、販売先の確保が難しい状況。商品チラシを作成し、安全性等についてPRを実施。
- 地域の原料を活用した肥料を製造し地域に還元できればいい循環がうまれる。SDGsの観点からも地域循環を目指す。

もみからパーク入り 完熟発酵堆肥
有機質・土壌改良材

環境に優しく
高品質な
SDGsに貢献

2 発酵期間が
短縮された
ため、土壌改良に
貢献

3 発酵期間の
短縮により、
作業負担を
軽減

4 発酵期間の
短縮により、
作業負担を
軽減

5 発酵期間の
短縮により、
作業負担を
軽減

環境に優しい
高品質な
SDGsに貢献

2 発酵期間が
短縮された
ため、土壌改良に
貢献

3 発酵期間の
短縮により、
作業負担を
軽減

4 発酵期間の
短縮により、
作業負担を
軽減

5 発酵期間の
短縮により、
作業負担を
軽減

お問い合わせ先
株式会社NA
TEL 0599-77-3618
FAX 0599-77-3619
http://www.na-na.co.jp